

市職労退職者の会

だより
No. 13
2012/9/20

△通信費について▽
五年間分20000円
の入金をお願いしてい
ます。まだの方は、ご
協力をお願いします。

第5回市職労退職者の会総会
日時 1月19日(土) 11時～14時
場所 天神平和楼本店 予定)
内容 第一部 総会
活動報告
新しい活動方針
新役員の選出

第4回バスハイク

申し込みましたか？

退職者の会は、11月17日(土)に恒例となり
ました「第4回バスハイク」を開催します。

今回は、熊本県の人吉市にある「国宝青井阿
蘇神社」や「永国寺」「人吉城跡」などを語り部
の案内で巡ります。お昼は人吉温泉(茶湯里又
はホテル華の荘)で交流会を行います。

また、バスの中でも歌あり、ゲームありの楽
しい企画を準備しています。皆さん振るって申
し込みください。

△日 時▽ 11月17日(土)

午前8時30分出発で日帰り

△場 所▽ 人吉温泉ほか

△募 集▽ 50名程度

△参加費▽ 3000円

*申し込み締め切り10月20日(土)

市職労書記局まで電話かファックスで申し込
みをお願いします。

電 話 711 4940

Fax 714 4013

猛暑の夏も過ぎ、

ぐんぐん秋の気配が

今年の梅雨は、北部九州で集中豪雨による甚大
な被害が広がりました。今も復旧工事が進まずに
避難生活を余儀なくされている方々もあります。

会員の皆様の中にも被害に合われた方が有るの
ではと心配しています。被害に遭われた方々には
遅ればせながらお見舞い申し上げます。

新役員を募集しています！

市職労退職者の会も4年目を迎え、来年1月の
第5回総会では役員改選を行うことにしていま
す。そのため、会員の皆様のご協力で新しく役員に
出てください方を募集しています。会員相互の親
睦や趣味を活かした交流などが主な活動で、どな
たでも気軽に出来る内容です。

また、会員の皆様には、会の活動内容についても
ご意見・ご要望などがありましたら市職労書記局
の方まで、電話かファックスでお寄せください。

バスハイクの参加者枠が余っています。参加希望
者は、早めにご連絡をお願いします。(不記)

〈市職労短信〉

市職労組合事務所書記とし長らく私た
ち組合員のお世話をしてこられた小柳久美子
(旧姓圓岡)さんが、9月末を持って退職されま
した。紙面を持って感謝の言葉を述べます。
また、新しく市職労書記として谷口まさん
(男性、28才)が採用されました。よろしくお
願いします。

します。

*総会議案は出席者の賛成多数で可決

多数の出席をお待ちしています！
尚、出欠は電話またはファックス、返信
用ハガキに切手を張って市職労書記局ま
で。

電 話 092・711・4940
F a x 092・714・4013

*この「だより」は最初の1年間、通信費の入金が無くても送付しますが、その後は停止となります。

退職者の会のみなさまへ

谷口 圭（市職労書記）



みなさんこんにちは。市職労の書記局で書記をしております谷口圭といたします。

昨年9月より、組織拡大の専任書記として働いてきました。最近では労働組合に若い職員が入らない、そもそも労働組合のことがわからない人が多いと聞いていたのですが、市役所の若い職員の中に、とても頼もしい仲間が出来たこともあり、若い職員の加入がどんどん増えてきています。若い世代から福岡市役所の労働組合運動を盛り上げていくように、頑張っていけます。退職者の会の皆様とは、これから関わっていく機会も多くなってくると思いますので、よろしくお願いたします。

不況対策に逆行した公務員賃金の連続引き下げ勧告

〓市人事委員会勧告では基本賃金、一時金、自宅住居手当など引き下げ〓

福岡市人事委員会は、9月12日に4年連続となる市職員給与等の引き下げ勧告を行いました。勧告では月齢賃金を△1100円（0.27%）、一時金を0.05月分引き下げ、自宅に対する住居手当を500円引き下げる等となっています。

欧米諸国が深刻な経済・財政危機に陥る中、日本経済にとっては急激な円高の進行によって対外貿易が落ち込むなど深刻な影響が広がっています。そのため国内消費の拡大による経済の支えが求められています。しかし、こうした公務員賃金の引き下げは民間労働者の賃金引き下げにも連鎖して国民の消費購買力を低下させるとともに、民・自・公の三党合意で強行された消費税増税がこれに拍車を駆けることは明らかです。

世界でもアメリカ、ヨーロッパなどで財政危機を口実にした公務員賃金の引き下げや、年金水準の引き下げなど緊縮政策が強行され、結果的に不況が拡大して企業倒産と失業者の増加もたらした国民の大きな反発を引き起こしています。

財政危機の原因を公務員の賃金水準や年金制度にあるとした攻撃はどこでも同じようです。違うのはこうした攻撃に反対する国民の運動広がりにあるようです。